

◆2014年度 太陽光発電実績

総発電量は83,319kWhでした。

自家消費分では、二酸化炭素を14,707kg-CO₂削減でき、設置している4事業所の年間総使用電力の約7.62%を太陽光でまかなった計算となります。

	本部	甲府C	一宮C	西桂C	合計
公称最大出力 (kw)	3.19	10	3	52.3	68.49
発電量 (kWh)	2,873	14,123	4,150	62,173	83,319
売電量 (kWh)	193	-	-	48,551	48,744
CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂)	1,215	5,974	1,755	5,762	14,707

※電気のCO₂換算には係数0.423を使用しました。

※西桂Cの発電量は全量売電42.3kWと、自家消費10kWを加算した量です。CO₂削減量は自家消費分のみです。

◆2014年度環境目標結果

項目	利用率 (%)	コピーカウント (枚)	トレベおすすめ (個)
取り組み	通年	通年	6月
対象	センター	本部	センター
目標	82.1	376,646	3,850
実績	83.1	372,767	4,334
達成率	101.2%	101.0%	112.6%
達成状況	○	○	○

※達成状況 (「○」は達成率100%以上)

パルシステムの利用が環境配慮商品やリユース・リサイクル促進につながることから、事業と連動した目標設定として「利用率」を通年で、また紙資源のリサイクル商品としての「トイレトペーパー」おすすめをおこなうことで、再利用まで含めた資源循環を全体で取り組みました。管理部門等の多い本部事務所では印刷の見直しなどで紙の使用枚数削減に取り組みました。

◆緑のカーテン

緑のカーテンは、つる性植物を育て、窓辺や壁面を覆うことにより、日差しを遮ったり、葉の気孔からの水分蒸散によって暑さを和らげてくれます。また室温の上昇も抑えることができます。

2014年度も、本部事務所と3つの配送センターで取り組みました。

◆環境社会検定試験 (eco検定) 受験

パルシステム山梨では、幅広い環境の基本的知識を身につけるべく、積極的に、環境社会検定試験 (eco検定) の受験・資格取得を推奨しています。現在30名の職員がエコ・ピープルとなっています (職員の53.6%)。

◆廃食油回収と菜の花プロジェクト

バイオディーゼル燃料事業は2013年3月末で終了しましたが、引き続き、組合員さんからの廃食油回収 (県内NPO法人に提供) を行っています。また市民団体との活動として「バイオディーゼルネットワークやまなし」「まちなかに油田をつくろう会」が組織統合した『バイオネットやまなし』に参画し、廃食油回収キャラバンや菜の花栽培などを行っています。

*2014年度組合員さんからの廃食油回収量: 7,420リットル

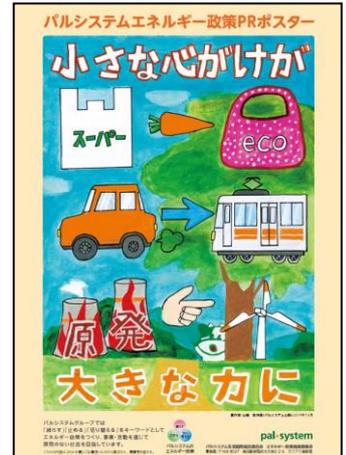
エネルギー政策推進に関する取り組み

パルシステムグループでは東日本大震災に伴い発生した、東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、2012年1月「パルシステムのエネルギー政策」を定め、グループ全体で取り組みを進めています。

- ・「減らす」節電と省エネ、効率化と最適化によってエネルギー消費をいっそう減らします。
 - ・「止める」速やかに脱原発を実現します。
 - ・「切り替える」原発への依存に替えて、再生可能エネルギーを急速に普及させます。
- パルシステムは「協同の力」で生活者がエネルギーを選択できる社会を実現します。

◆エネルギー政策 PR ポスター

エネルギー政策を周知するためのポスター募集をグループ全体で行い、各県での投票、インターネットでの一般投票を経て、439作品の中からパルシステム山梨の組合員のお子さんの作品が最優秀賞に輝きました。



◆意見書・パブリックコメント等の提出

政府に対し、一部電力会社の系統連系「回答保留」に対する意見書、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法施行規則の一部を改正する省令案等」へのパブリックコメント、電力小売に係る消費者への説明・表示義務を求める要望書をそれぞれ提出しました。

◆映画「無知の知」上映

2014年9月には、地域を広く対象とした「オープンカレッジ」企画として、パルシステムが特別協賛した映画「無知の知」を全国に先駆けて山梨で上映しました。原発事故後の避難生活を余儀なくされている人や政府関係者、原発導入に関与してきた人々へのインタビューを中心に、避難生活や放射能対策の状況を紹介するドキュメンタリーで、当日は監督・プロデューサーも来場いただきました。

◆エネルギー政策・脱原発講演会

2015年2月に環境委員会主催で「福島のその時・今、そして未来」と題し、パルシステム福島の和田理事長による、福島のお話と、グループのエネルギー政策の進捗を学ぶ企画を開催し、40名の参加がありました。



和田理事長講演の様子

◆脱原発関連

東京での脱原発フォーラム「脱原発社会の創造ーいま、市民として取り組むべきこと」、阻止ネット公開シンポジウム「原発再稼働にNO！脱原発政策大綱と原発ゼロ社会への行程」へ役員が参加しました。

また、「原発事故被害者の住宅・健康・保養支援の立法化と完全賠償の実現を求める請願署名」、山梨県生協連で取り組んだ「被災者生活支援制度の抜本的拡充を求める署名」にそれぞれ役職員で協力しました。

◆「うちエコ診断」

環境省が実施する「家庭エコ診断制度」に基づき、専用のソフトを使い、実施機関（パルシステム連合会）の診断士が省エネ・省CO₂対策をご提案するものです。山梨でも診断士2名が、組合員さん中心に12名へ診断を実施しました。

その他の組合員活動、パルシステムグループと連携した活動

◆「森の産直」～南都留森林組合と森林分野での産直協定

パルシステム連合会では、日本の森林資源を保全し、持続可能な森づくりに貢献していくことなどを目的とし2014年1月、山梨県都留市の南都留森林組合と産直協定を締結しました。パルシステム山梨でも地元として産直協定に基づく会議や、役職員の体験研修に参加しました。また間伐材利用の積み木と消臭効果のある炭を加工した置物が新商品として販売されたことを受け、組合員さんへのおすすめを行いました。

◆石けんシャンプー・コンディショナー

山梨の組合員さんが参加した2013年度商品開発チームで、商品開発に取り組んだ石けんシャンプーコンディショナーは『サボン・セレクト』として2015年2月より商品化されました。組合員さんから好評の声を頂いています。



山梨の組合員さんが開発協力した
石けんシャンプー・コンディショナー

◆エコドライブ運動

1998年より、環境にやさしい運転を心がける運動に取り組んでいます。積み下ろしや駐停車時のエンジンオフ、キーチェーンの徹底、アイドリングストップに加え、「ふんわり発進」や「早めのブレーキ」など、燃費に加え安全運転にもつながる運動として取り組んでいます。

◆環境こどもまつり

2014年7月、7回目となる「環境こどもまつり」を開催しました。県内の環境団体などに呼びかけ、薪割り体験・火つけ体験・ソーラークッキング・県産材で作った木枠のプール、屋内ではマイ箸作り体験、県産材の端材での積み木遊びなどで、多くの親子に体験型で楽しんでいただきました。

◆紙パック等リサイクルの学習

2014年6月、紙パック等のリサイクルとして「トイレットペーパー」へ商品化している静岡の製紙工場見学を環境委員会の主催で行いました。紙パック等のリサイクルの循環を実際に見て学び、通信やイベント等で広くお伝えしました。



リサイクル見学：製紙工場

◆田んぼの生き物観察～五町田エコロじい田んぼ塾

9家族が参加し、年間を通じてお米作りを体験しました。年間の田んぼ作業の合間に、田んぼの生き物観察等を行い、親子で生態系やその恵みについて理解を深めています。

◆出前講座

パルシステム山梨では、「自然派！おそうじ」「手漉きハガキ」「廃食油リサイクル」など環境関連の出前講座を行っています。2014年度は29回の開催となりました。

諸団体と連携した取り組み

◆山梨県生協連

構成団体として活動し、2014年11月に自然観察会「愛宕山で冬のお宝発見」などを開催しました。

◆環境パートナーシップやまなし

「エコライフお絵かきコンテスト2014」に、パルシステム山梨も賞を3点設け、表彰式に参加しました。

◆エコライフ県民運動へ参加

山梨県が進めるエコライフ県民運動の主旨に賛同し、各センターを「リユースびん」、フェアトレードショップばるはぴを「リユースびん」「マイバック」の推進店として登録しています。

◆やまなしエコネットワーク

引き続き事務局を担い、環境市民オンブズマン活動・環境セミナーなどの取り組みに協力しました。

◆第16回ライトダウンやまなし2014

2014年10月に実施された「ライトダウンやまなし」に引き続き、実行委員会へ参加し、消灯呼びかけやイベントの実施に協力しました。

◆広がれ！小瀬エコスタジアムプロジェクト

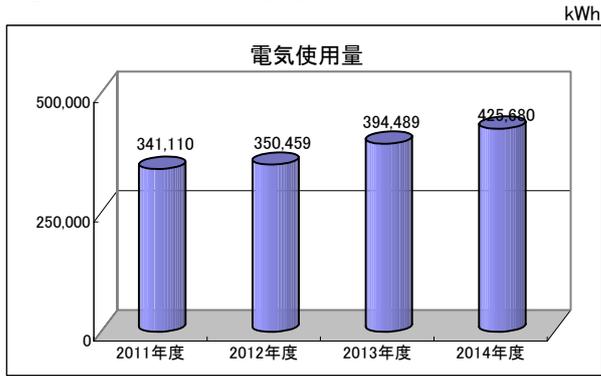
実行委員会へ参加し、甲府市小瀬のスタジアムを“環境山梨”のシンボルに、と活動しています。

◆各種会議・イベントへの参加

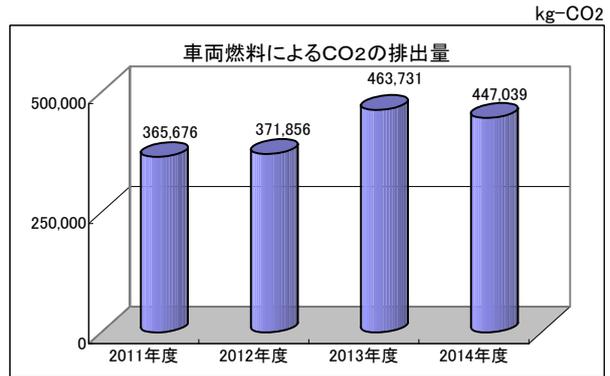
やまなしCO₂フリー構築コンソーシアム運営委員会、甲府市温暖化対策地域協議会、中央市温暖化対策地域協議会、都留市温暖化対策地域協議会、やまなし木質バイオマス協議会等に参加しています。また甲府市環境リサイクルフェア、県民の日記念行事など環境イベントにも積極的に参加しました。

2014年度電気、車両燃料、ガス、水道の実績

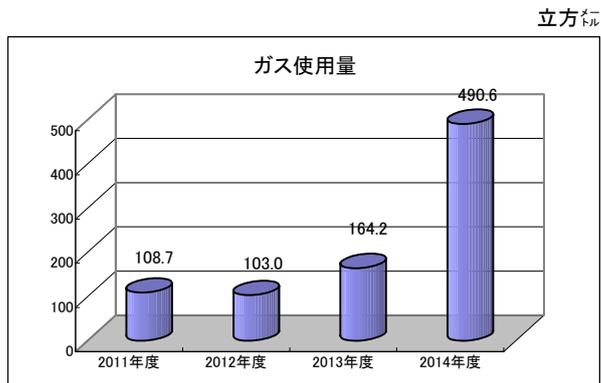
[電気、車両燃料、ガス、水道の実績]



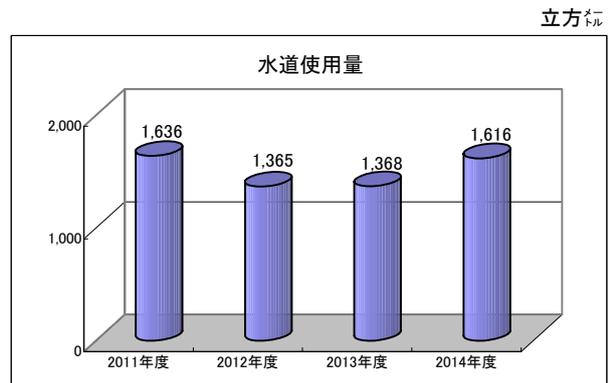
2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
341,110	350,459	394,489	425,680



2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
365,676	371,856	463,731	447,039

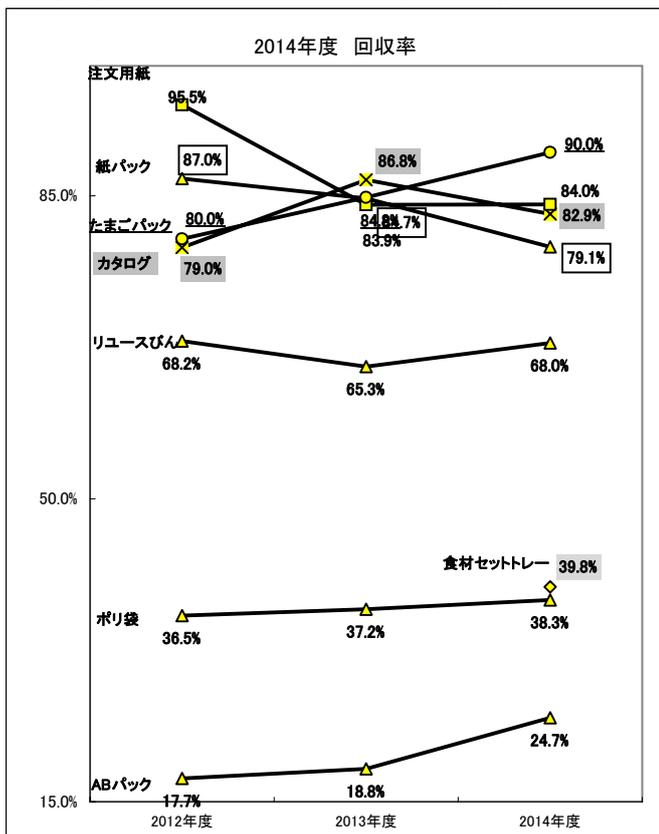


2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
108.7	103.0	164.2	490.6



2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
1,636	1,365	1,368	1,616

2014年度リユース・リサイクルの回収実績



2014年度回収率

	2012年度	2013年度	2014年度
リユースびん	68.2%	65.3%	68.0%
紙(牛乳)パック	87.0%	84.7%	79.1%
ABパック※	17.7%	18.8%	24.7%
商品案内(カタログ)	79.0%	86.8%	82.9%
注文用紙	95.5%	83.9%	84.0%
ポリ袋	36.5%	37.2%	38.3%
たまごパック	80.0%	84.8%	90.0%
食材セットトレー	-	-	39.8%

※10年7月より、ヨーグルト容器(3種)含む

リユース・リサイクルにおける行政費用の削減効果(推計)

	kg	円
リユースびん	36,266	1,584,259
紙(牛乳)パック	17,927	783,135
ABパック	3,033	132,496
カタログ	600,010	26,211,241
注文用紙	10,349	452,093
ポリ袋	13,253	578,953
たまごパック	19,845	866,922
食材トレー	7,622	332,965
合計		30,942,064

パルシステム山梨で組合員さんから回収したリユース・リサイクル容器や包材の回収重量をあわせて、行政で一般廃棄物として処理した場合の費用を掲載しています。自前でリユース・リサイクルすることで、行政の一般廃棄物処理に係る費用(私たちの税金)のうち、2014年度は約3,094万円相当を削減した、と推計されます。

※ごみ処理用に対するごみ処理費用は、43.68円/kg
(参考資料:環境省「日本の廃棄物処理 平成25年度版」)

パルシステム山梨の環境方針

パルシステム山梨は、地球温暖化防止対策や資源循環型の取り組みを通して、持続可能な社会づくりの構築をめざします。

組合員への配送やサービスなどの事業活動や地域への社会貢献活動を通して、環境負荷の低減をはかります。

地域の人々と環境にやさしい街づくりをすすめるとともに、「環境のパルシステム山梨」として地域から信頼される生協をめざします。

1. 地球温暖化防止・環境対策について、役職員の主体的な行動で、前年度よりのCO₂排出総量削減に向けて取り組みます。またパルシステムグループとしてのエネルギー政策を推進します。
2. 実際の業務と連動した、環境取り組み目標を設定し、日常業務での環境推進をはかります。
3. 効果的な環境マネジメントシステムの運用に向け、見直しを行い、継続的な改善をはかります。
4. 環境側面に関連する法令や、パルシステム山梨が受入れを決めたその他の要求事項を遵守し、事業活動をすすめます。
5. 地域の市民団体・行政・企業などと連携を深め、環境に対する意識向上に努めます。
6. 上記の活動を推進するため、役職員一人一人への教育・情報共有をすすめます。

この環境方針は、生活協同組合パルシステム山梨内外に公開します。

2015年5月15日
生活協同組合パルシステム山梨
専務理事 志村 宏司